

和

樂

February 2010 No.101 2月号

〈永久保存版〉

市川海老蔵の 秘蔵フォトと錦絵

新年は「ホテル美容」で

水戸徳川家の
殿様が愛した茶道具

鳩山 幸の天命とメッセージ

「天橋立」
冬の旅ルート

蓬萊・炭屋旅館・三養荘・新井旅館

「日本美を学ぶ名宿」
宿泊モニター募集

鈴木京香さんも
京都の禅寺で修行

美と知と心の大特集

和を学ぶ

二〇一〇年、
禅・能・料理・茶・香・花・書を、最高の師の下で

体のしんまで冷えるこの時季は、
ゆったりと温泉にでもつかって温まりたいもの。
そこで今月は、温泉の日本一に注目しました。

あんな日本一、こんな日本一
集めました!

解説・郡司 勇
温泉研究家

ぐんじいさむ 一級建築士のかたわら全国を巡り、
約4,630の温泉地、約6,500の温泉施設で入湯。
テレビ番組「TVチャンピオン」(テレビ東京)で
3度の温泉チャンピオンとなり、以後、
温泉研究家としてテレビや雑誌で活躍。
著書に「秘湯、珍湯、怪湯を行く!
—温泉チャンピオン6000湯の軌跡」
(角川oneテーマ21)など。

日本人の温泉好きは神代にまでさかのぼること
ができるほど。江戸時代には全国の温泉番
付なるものまで発行されていました。

「諸國温泉功能鑑」を見てみると、東の大関(当時、
横綱はなく大関が最高位)は「上州草津の湯」、西
の大関は「摂州有馬の湯」。以下、現在も人気の温
泉地が続きます。

そして今日、温泉番付に代わるものが、「につぼん
の温泉100選」。これは、日本旅行業協会と全国旅行
業協会に加盟している旅行者、運輸機関、観光

関連機関などの関係者の投票によって選出されるも
ので、2009年の第23回「につぼんの温泉100選」では、
1位/草津(群馬県)、2位/登別(北海道)、3位/
由布院(大分県)、4位/黒川(熊本県)、5位/別府
八湯(大分県)となっています。

このふたつを見ると、江戸時代も今も日本一は「草
津」ですし、全体にさほど大きな違いはありません。古
くから栄えた温泉地は、今も健在であるといつてもい
いでしょう。これについて、温泉研究家の郡司 勇さ
んにうかがってみました。

2009年度も温泉日本一は「草津」
では、温泉通が
注目する
温泉地は



旅行会社が選んだ「温泉100選」

第23回「につぼんの温泉100選」

順位	都府県	温泉名	所在地	得票数	順位	都府県	温泉名	所在地	得票数
1	群馬	草津	群馬県草津町	987	51	長野	沢村	長野県上田市	311
2	北海道	登別	北海道登別市	894	52	神奈川	鎌倉	神奈川県鎌倉市	304
3	大分	由布院	大分県由布院町	847	53	北海道	知床・ウトロ	北海道紋別市	273
4	熊本	黒川	熊本県黒川市	805	54	福島	高湯	福島県高田郡高田町	267
5	大分	別府八湯	大分県別府市	752	55	神奈川	湯河原	神奈川県湯河原町	246
6	大分	湯河原	大分県湯河原町	736	56	群馬	日光湯元	群馬県日光市	239
7	群馬	湯元	群馬県湯元町	719	57	群馬	黄金崎不老花	群馬県黄金郷町	232
8	群馬	馬場	群馬県馬場町	701	58	群馬	村兵衛	群馬県村岡町	226
9	岐阜	下呂	岐阜県下呂市	693	59	静岡	一色	静岡県静岡市	217
10	岐阜	神宮	岐阜県神宮町	673	60	山梨	河口	山梨県山梨市	214
11	和歌山	和歌山	和歌山県和歌山市	652	61	長野	奥鬼怒	長野県上田市	205
12	神奈川	箱根湯本	神奈川県箱根町	638	62	山梨	細川	山梨県山梨市	202
13	秋田	乳頭温泉	秋田県乳頭町	622	63	福井	あわら	福井県あわら市	200
14	仙臺	仙臺	仙臺県仙臺市	618	64	岩手	住吉	岩手県住吉町	195
15	北海道	十勝	北海道十勝郡	609	65	山梨	宇山	山梨県山梨市	196
16	秋田	奥羽	秋田県奥羽町	601	66	高知	あしずり	高知県高知市	193
17	北海道	湯川	北海道湯川町	593	67	大分	分利	大分県大分市	192
18	群馬	伊香保	群馬県伊香保町	589	68	山梨	川口	山梨県川口町	188
19	宮城	子宮	宮城県子宮町	576	69	岩手	花巻	岩手県花巻市	181
20	岩手	鬼怒川・川治	岩手県川治町	555	70	山梨	妙高	山梨県妙高市	181
21	山梨	玉川	山梨県玉川町	551	71	山梨	まふま	山梨県山梨市	178
22	山梨	蔵王	山梨県蔵王町	544	72	山梨	かみのやま	山梨県山梨市	174
23	群馬	万葉	群馬県万葉町	540	73	山梨	山梨	山梨県山梨市	169
24	秋田	保宮	秋田県保宮町	534	74	群馬	上野原	群馬県上野原町	165
25	宮城	野佐	宮城県野佐町	531	75	群馬	那須	群馬県那須町	160
26	山梨	白川	山梨県白川町	527	76	宮城	作並	宮城県作並町	157
27	北海道	阿寒	北海道阿寒町	519	77	山梨	一風	山梨県山梨市	153
28	山梨	山形	山梨県山形町	513	78	山梨	14堂	山梨県山梨市	153
29	山梨	藤田	山梨県藤田町	505	79	山梨	津波	山梨県山梨市	146
30	山梨	修善寺	山梨県修善寺町	501	80	山梨	あつみ	山梨県山梨市	141
31	山梨	熱海	山梨県熱海町	496	81	山梨	石川	山梨県山梨市	138
32	山梨	代官	山梨県代官町	488	82	山梨	母山	山梨県山梨市	137
33	山梨	三島	山梨県三島町	470	83	山梨	手大沢	山梨県山梨市	132
34	山梨	湯田中	山梨県湯田中町	464	84	山梨	霧峰	山梨県山梨市	127
35	山梨	四万	山梨県四万町	459	85	山梨	法善	山梨県山梨市	124
36	山梨	月夜野	山梨県月夜野町	452	86	山梨	下田	山梨県山梨市	120
37	山梨	白根	山梨県白根町	438	87	山梨	湯田	山梨県山梨市	116
38	山梨	215山	山梨県215山町	431	88	山梨	湯島	山梨県山梨市	103
39	山梨	山石	山梨県山石町	425	89	山梨	湯島	山梨県山梨市	103
40	山梨	山石	山梨県山石町	425	90	山梨	湯島	山梨県山梨市	99
41	山梨	山石	山梨県山石町	412	91	山梨	湯島	山梨県山梨市	99
42	山梨	山石	山梨県山石町	409	92	山梨	湯島	山梨県山梨市	99



草津温泉は、江戸時代から栄えた温泉地。2009年度の「につぼんの温泉100選」でも1位に選ばれた。温泉通が注目する温泉地は、草津温泉がトップに輝いた。

上/江戸時代の温泉番付「諸國温泉功能鑑」。
「錦絵にみる日本の温泉」(国書刊行会)より。
このころから、各地の温泉地がにぎわっていたことがわかる。
左/観光経済新聞に掲載された、2009年度の
「につぼんの温泉100選」の記事。
「草津」は7年連続で首位をキープ。

「現在のランキングは、観光地としてあらゆる条件が整っているところが上位に来ています。それぞれいい温泉があって、地域性や自然環境に特徴がある。妥当な選定だと思います」

それでは、全国の温泉を巡ってきた郡司さんが、今注目している温泉は？

「私は、温泉はまず泉質が大切だと思っています。ですから、加温したり、加水したり、温泉を循環させたり、薬剤を使用したりということが一切ない、源泉そのものの魅力を味わうことができるのが重要なポイント。そこにもっと注目してもらいたいと思っていますのです。」

そんな観点からおすすめしたいのが、源泉を直接湯船にはっている温泉。これは、つかっているとかからポコポコと湯が湧いてくる温泉のことで、私は「足元湧出温泉」と呼んでいます。

その日本一は、鳥取県の三朝温泉。地熱が高く、どこを掘っても温泉が出てくるような土地柄で、足元湧出温泉の風呂がある旅館が何軒かあります。なかでも『旅館大橋』には3つの足元湧出温泉があり、源泉を堪能することができます。2位にあげたいのは群馬県の法師温泉。一軒宿の『長寿館』の大浴場は国登録有形文化財に指定されている立派な建物で、大きな湯船にはられた湯の底を見ると、あちこちから絶えず源泉が湧出しているのがわかります。足元湧出温泉はほかにも、北海道の丸駒温泉、青森県の蔦温泉と酸ヶ湯温泉、秋田県の奥々八九郎温泉、岡山県の真賀温泉、大分県の壁湯温泉、熊本県の地獄温泉、鹿児島県の湯川内温泉と白木川内温泉などなど。全国にいくつもあるの、その気持ちよさをぜひ味わっていただきたいと思います」

最後に、源泉にこだわる郡司さんが、よりよい温泉を選ぶ際の基準とは。

「浴槽は小さいほどいい、入浴料金は安いほどいい。これが私の持論です。浴槽が大きいと、加水や加温で温度を調節し、循環や薬剤で衛生面をクリアしなければならなくなかなかねません。また、入浴料金は、共同浴場のような源泉かけ流しのところはおのずと安くなり、大きな施設になるほど高くなる。温泉の質を考えると、安いところのほうが優れている場合が多いのです」

温泉というと、通常は泉質よりも先に宿を考えて選びがちです。もちろん、それが温泉を総合的に楽しむ常道です。しかし、目先を変えて泉質を第一に考えてみると、また違った温泉の楽しみ方ができるのかもしれない。

NIPPON1 COLUMN 温泉いろいろ日本一!

●「足元湧出温泉」日本一 三朝温泉(鳥取県)



温泉研究者・郡司 勇さんが注目する「足元湧出温泉」。郡司さんが日本一に選出したのは鳥取県の三朝温泉。その地でおすすめの宿は『旅館大橋』(鳥取県東伯郡三朝町三朝302-1 ☎0858・43・0211)。3つの足元湧出温泉があり、源泉を堪能することができます。2位の群馬県の法師温泉に宿は1軒のみ。『長寿館』(群馬県利根郡みなかみ町法師温泉永井650 ☎0278・66・0005)がそれだ。

●「温泉湧出量」「源泉数」、 「共同浴場数」日本一 いずれも別府温泉(大分県)



温泉湧出量は1日に約137,000kl。2位の由布院温泉(大分県)を大きく引き離している。源泉数は2,850本。日本には27,000本の源泉があるが、その1割以上が別府に集中し、2位の由布院温泉とは、実に3倍以上もの開きがある。共同浴場数は約170。この数は、温泉数が多いことに由来し、別府の人々は普段の暮らしのなかで、あたりまえのように温泉と接してきたことがわかる。

●「硫黄含有量」日本一 万座温泉(群馬県)



最も温泉らしい泉質とされる硫黄泉。硫化水素の作用によって、白濁したり、ゆで卵のような匂いを発したりする硫黄泉のなかでも、万座温泉の硫黄含有量は、2位の月岡温泉(新潟県)、3位の吾妻高湯温泉(福島県)の倍以上。圧倒的な1位だ。匂いは強いけれども、温泉の効能を求める人には最高の温泉といえるだろう。万座温泉はまた、車で通年行ける、標高の高い温泉日本一でもある。

●「酸性泉」日本一 玉川温泉(秋田県)

皮膚病をはじめ、万病に効くといわれる酸性泉。名湯と称される温泉は、実はこの酸性の強い温泉が多い。1位の玉川温泉に続き、2位は蔵王温泉(山形県)、3位は塚原温泉(大分県)。以下に川湯温泉(北海道)、川原毛温泉(秋田県)、草津温泉(群馬県)と続く。湯治場として有名なところが多く、温泉が医療目的に利用されていたことがわかる。

●「強食塩泉」日本一 月山温泉(山形県)

塩分を含んだ湯は比較的数量が多いのだが、海水よりも濃い強食塩泉となると数はそう多くはない。食塩濃度の1位は月山温泉。2位は茶褐色の「金泉」で有名な有馬温泉(兵庫県)、3位は温泉998(北海道)、4位は今金温泉(北海道)、5位は宝塚温泉(兵庫県)。いずれもタオルが汚れてしまうのが難だけれど、体が温まりやすく冷えにくい強食塩泉は、冬こそ訪れたい温泉のひとつ。

●「アルカリ性泉」日本一 都幾川温泉(埼玉県)

PH値が高く、入浴後の肌をつるつるにしてくれることから「美人の湯」と称されることが多いのが、アルカリ性の強い温泉。1位の都幾川温泉と僅差の2位が飯山温泉(神奈川県)、3位が白馬八方温泉(長野県)。美肌になりたい人は、強アルカリ性の温泉を選んで。

●日本一「温泉が多い都道府県」 北海道 247か所

●日本一「温泉地が少ない都道府県」 沖縄県 13か所

●日本一「北の温泉」 稚内温泉(北海道)

●日本一「南の温泉」 西表島温泉(沖縄県)

●日本一「高所の温泉」 みくりが池温泉(富山県) 標高2,410m